

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		中学校音楽鑑賞教室					所管	教育委員会 指導課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	36	計画事業名	子供の文化教育の充実			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] あらゆる世代が生涯にわたって成長し輝くまちの実現 [施策] 6 未来を担う子供を育む教育の推進					[事業開始]	- 年度		
	根拠法令等	その他	〔法令等名〕			学習指導要領				
	事業対象	直接の対象 : 区立中学校 最終的な対象 : 上記第1学年生徒								
	事業目的	区立中学校の生徒がオーケストラの演奏を鑑賞することにより、情操豊かな生徒の育成及び鑑賞態度を身に付けさせる。								
	事業内容 [H30年度]	東京藝術大学管弦楽研究部のオーケストラによる演奏会を開催し、鑑賞する(学習指導要領の音楽「鑑賞」に位置付けられている) (演奏) 芸大フィルハーモニア (会場) 東京藝術大学 奏楽堂								
	委託の有無	なし	委託内容		なし					
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種別	指標の名称		単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度		
					目標値	実績	実績	実績	目標値 達成率	
	活動指標	開催回数	回	1	1	1	1	1	100.0%	
	成果指標	参加生徒数	人	780	770	728	735	736	99.9%	
	決算額 (単位:千円)					H28年度	H29年度	H30年度		
						1,078	1,053	1,057		
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				178		168		176
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				106		82		160
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				972		972		898
		総経費				1,256		1,222		1,234
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0		0		0	
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0		0		0	
	一般財源(区負担額)				1,256		1,222		1,234	
課題及び今後の進め方	東京藝術大学の奏楽堂が修繕のため、同時期に同会場での実施が難しいため、会場を変更しての実施を検討する。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	通常の授業では触れることのできない、より質の高い芸術に触れることで生徒の豊かな感性を養う機会となっている。							
	効率性	3	区内の人材・施設を活用することにより児童の移動等にかかる時間や負担を軽減することができており効率の良い運営となっている。							
	手段の適切性	3	東京藝術大学の奏楽堂を会場とする利点を生かし、パイプオルガンを使用した曲目をプログラムに入れており、生徒にとってオーケストラ演奏もさることながら、機会の少ないパイプオルガンの演奏を聞く貴重な体験となっている。							
目的達成度	3	対象となる生徒ほぼ全員に鑑賞機会を提供することができている。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
オーケストラ鑑賞という貴重な体験ができる機会を提供するとともに、オーケストラ演奏を身近に感じることができるよう工夫している。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		